

○「脱成長」をめぐる言説と事実確認

言説 1 「経済成長至上主義が格差を拡大」

→とはいえ、成長率が鈍化（脱成長）するなかで、ますます格差は拡大。

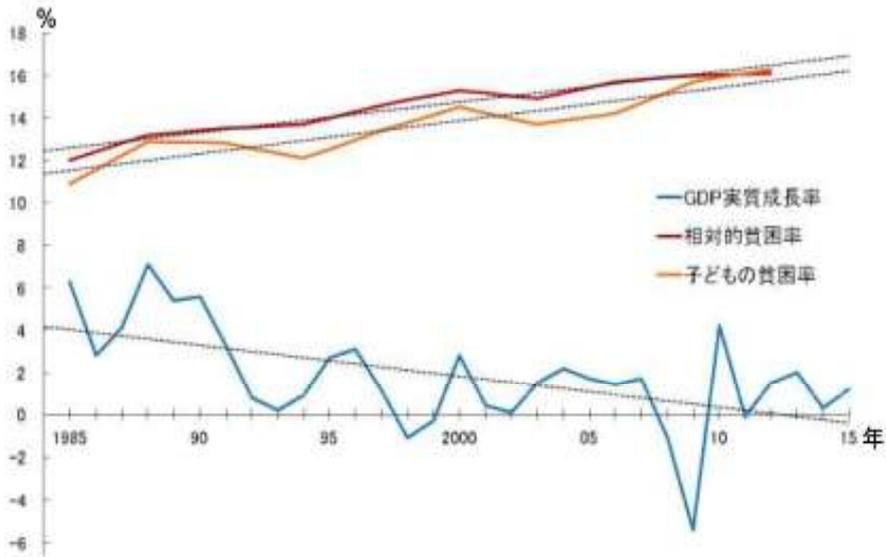


図66 相対的貧困率等の推移

資料：厚生労働省「平成25年 国民生活基礎調査の概況」、内閣府「国民経済計算」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/dl/03.pdf>
<http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>
 出典：ウェブサイト「フード・マイルージ資料室」
<http://food-mileage.jp/>

言説 2 「世論はこれからは心の豊かさ（脱成長）を求めている」

→ しかし若年層は、相対的に「まだ物の豊かさ」。

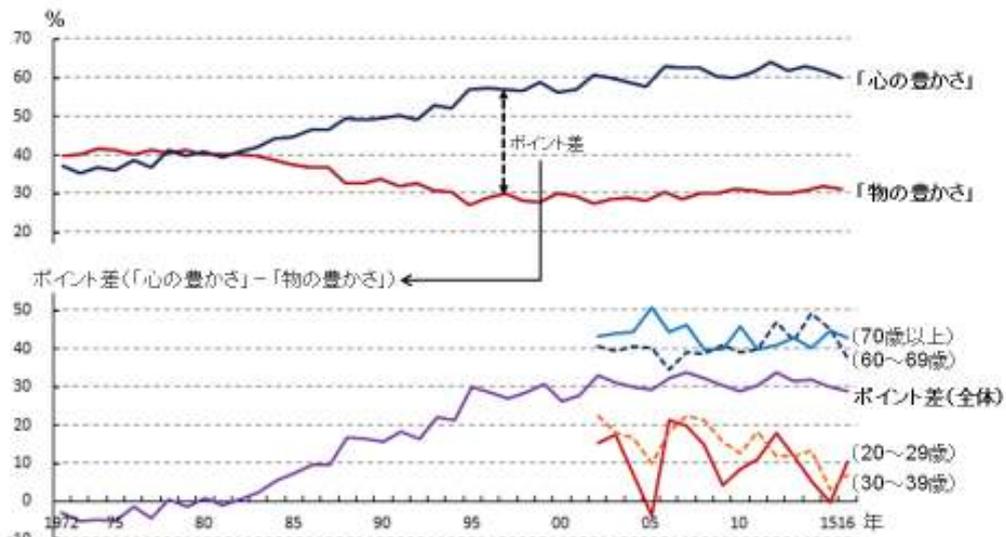


図67 これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか

資料：内閣府「国民生活に関する世論調査」（2016年7月調査）
<http://survey.gov-online.go.jp/h26/h26-life/>
 出典：ウェブサイト「フード・マイルージ資料室-F.M.豆知識のページ」
<http://food-mileage.jp/category/mame/>

言説3「脱成長は世界の潮流」→ 日本は既に脱成長先進国（失われた20年）

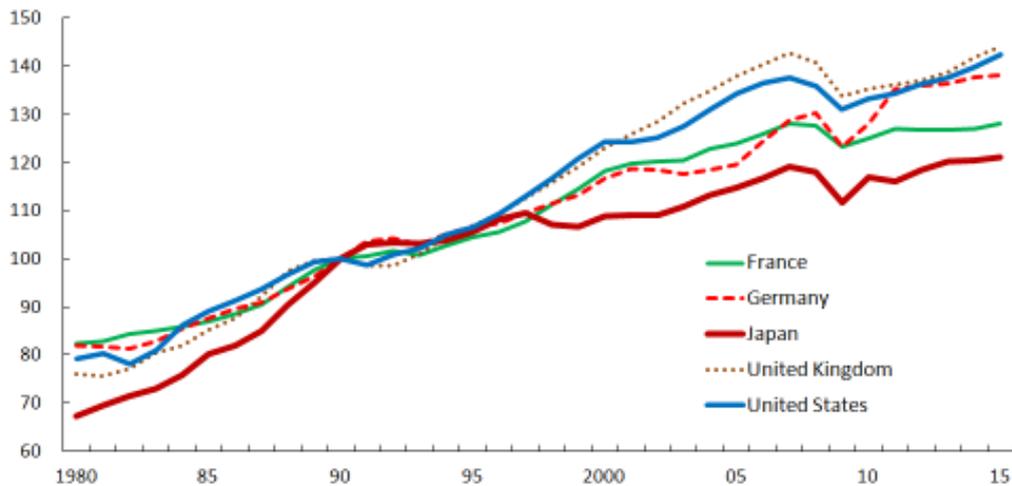


図 68 一人当たり国内総生産の推移（1990=100）

出典：IMF “World Economic Outlook Database—October 2016 Edition”

○ 高坂勝氏『次の時代を、先に生きる』

- ・「経済成長至上主義」が全ての不幸を生み出している（命を脅かす武器や原発まで）
→「経済成長（至上主義）なんてクソ食らえ」
『稼がない自由』など暮らし方や生き方の選択肢がたくさんある社会を目指すべき。
「経済成長神話から脱出して次の時代を先に生きてしまえ」

○ 「脱（経済）成長（至上主義）」→「脱成長」？ 短絡的ではない丁寧な議論が必要。

- ・そもそも「脱成長」って、GDP 成長率何パーセントまでのこと？（定義なし）
- ・既に日本は「脱成長」（アベノミクスも実質 2%）→成長率は対立軸にならない。
- ・中高年層（高度経済成長の成果を享受）が声高に「脱成長」を唱えることは、若年層（非正規雇用や低所得にあえぐ）に対する配慮が足りないのでは。
- ・「脱成長」：経済成長を全否定、競争や努力は必要ないとする安易なイメージ。
Cf. 齊藤誠『ランニングマシーンで走る辛さと楽しさ』

○ 一定の経済成長を確保しつつ、その果実を適切に再配分するという施策が必要では。

Cf. 報徳本社（静岡・掛川）の門柱

：「道徳門」と「経済門」

テツオ・ナジタ『相互扶助の経済』

「まだ成長しなければ、ダメだと思っている」中田哲也

ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」主宰

Web; <http://food-mileage.jp/> Mail; foodmileage@jcom.home.ne.jp